

## 神奈川大学史研究会開催報告

二〇一六（平成二十八）年度から、百年史編纂にむけて、大学資料編纂室の主催により神奈川大学史研究会を開催することとした。第一回・第二回の開催内容は次のとおりである。

### 第一回

日時…二〇一六年六月二十二日（水）

十六時四〇分～十八時〇〇分

会場…横浜キャンパス三号館三〇八講堂

報告者…津田良樹氏（工学部建築学科）

報告…土地に刻まれた歴史から見た横浜専門学

校・神奈川大学

—土地所有関係を中心に—

開会挨拶…吉井蒼生夫（百年史編纂委員会委員長）

コメンテーター…澤木武美（百年史編纂委員会委員

員・専門委員）

司会進行…齊藤研也（大学資料編纂室）

参加者…三十八名

〔概要〕『神奈川大学史紀要』創刊号掲載の論考を基に、一九三〇（昭和五）年の横浜専門学校の六角橋への移転と当時進行していた「宮面土地区画整理」との関係、その後横浜専門学校から神奈川大学の成立から今日にいたる土地の変遷を、地形図や公図、登記簿などから読み解いた。

会には地域をよく知る住民の方々も参加され、和やかな雰囲気の中、貴重な証言を得ることもできた。



第1回研究会

## 第二回

日時…二〇一六年十一月二日（水）

十六時四〇分～十八時〇〇分

会場…横浜キャンパス三号館四〇八講堂

報告者…桑尾光太郎氏（学習院アーカイブズ）

報告…「人にやさしいアーカイブズ」

— 大学史資料をどのように活用するか —

開会挨拶…吉井蒼生夫（百年史編纂委員会委員長）

コメンテーター…齊藤研也（大学資料編纂室）

司会進行…大坪潤子（大学資料編纂室）

参加者…二十七名

〔概要〕学内史資料の活用について、先駆的な取り組みで知られる学習院アーカイブズから桑尾氏を招き、具体的な史資料の収集状況と活用につき報告いただいた（本号桑尾氏論参考参照）。主に神奈川大学教職員の参加を想定していたが、他大学からの参加者が予想以上に多く、このテーマへの学内に留まらない関心の高さが窺えた。

なお、報告に先立ち十六時から三〇分間、三月に二十八号館へ移転した編纂室書庫の見学会をおこ

なった。こちらも学外からの参加者が多く盛況であった。



書庫見学会（上）と第2回研究会